

令和 3年11月 4日 企画総務委員会（未定稿）

○嶋崎委員長 それでは、まず日程1、陳情審査でございますけれども、継続となっている計4件、一括して審査をしたいと思っております。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎委員長 はい。これにつきましては、前回、審査の折に、小枝委員から、千代田区の関係について調査してほしいと、こういうご依頼がございました。その確認を含めまして、執行機関から情報提供があれば頂きたいと存じます。

○中田総務課長 前回の陳情審査の際、沖縄戦の戦没者の方の中に千代田区民が含まれるのかどうかということ、区としてそういう情報を把握しているのかというお話を頂きました。区では、戦没者の援護の事務ですとか遺族年金の支給の事務などの申請の受付を行っておりますが、対象者の軍所属の有無ですとか派遣先などの情報というのは一切知らされていないという状況です。そのため、沖縄戦の戦没者に関する千代田区民の情報というのは、区といたしましては把握をしていないという状況でございます。

○嶋崎委員長 はい。

ということでございますけれども、小枝委員、いかがでしょうか。

○小枝委員 今まで区のほうの把握している情報の中にはないということですが、私が様々活動している中では伺うことがありますし、この間も言ったように、区議会議員のOBの方の親族にもいらっしゃる。摩文仁の丘というんですかね、あそこに名前が書かれていたりするんですね。国際平和都市宣言をしてから、恐らくもう25年、もう少したっていますかね。というふうなことからすると、数の問題ということではなくて、一つの歴史の、千代田区と戦争の一つの戦跡とか、それから関わりというところでは、何らかこういった情報も記録化していくというようなことも、平和事業の中で考えられていったらいいんじゃないかと。直接それはこの陳情の中身ということにはならないかもしれませんが、その辺は国際平和・男女平等人権課としてのお考えというのはどうなんでしょうかね。今いないのかな。いないの。そこら辺のところは……

○嶋崎委員長 ちょっと——はい、小枝委員。

○小枝委員 総務の答弁だと限界があると思うので、国際平和のほうともちゃんと記録を読み解いていただければ、その辺の記録は、毎年文集も出していますよね。そういう中にあるはずなんです。忙しくて時間もなかったかもしれないんですけども、そういうこともやっぱりしっかりと把握をしながら、私たちそれぞれ忘れないというか、しっかりと記憶していくというふうなところに、反省に立っての区民挙げての宣言ですから、そこはちょっと少し部長レベルでと思う。どうですか、いかがですか。

○細越政策経営部長 確かに、今、小枝委員ご指摘のとおり、千代田区も平和都市宣言をしているところでございます。区といたしましても、ちょっとコロナ禍でこの平和事業、ちょっと中断しておりますけれども、これまで沖縄をはじめ、広島、長崎のほうにも行っております。そういったことも踏まえまして、どういったことが携われるのか、それにつきましては、引き続き所管課のほうと連携、調査していきたいと思っております。

○嶋崎委員長 はい。この、直接的にはなかなかつながりがないということが明らかになったということで、若干脱線しましたけれども、国際事業、平和事業についてのご依頼もあったということでよろしいですか。

送付3-7、15、18、参考送付 陳情審査部分抜粋：

令和3年11月4日 企画総務委員会（未定稿）

ほかにありますか。何か委員の皆さんからの、今までのことも含めて、あればお願いします。（「一旦休憩の中で」と呼ぶ者あり）

はい。休憩します。

午前10時35分休憩

午前10時36分再開

○嶋崎委員長 それでは、委員会を再開いたします。

ほかに、ご意見や取扱いを含めて、あればご発言を頂きたい。

○永田委員 この当陳情については、大枠のところは同じ認識の部分もあると思うので、今後、今回は継続で、次の定例会、次の委員会に向けて、もし調整して一致点を見いだせるのであれば、その次の委員会でそれを示せればと思うので、今回は継続で進めてはどうでしょうか。お願いします。

○嶋崎委員長 はい。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎委員長 それでは、この件については継続とさせていただきます。